



なかじま

中島めぐみ

台東区議会議員 文化・観光特別委員会 副委員長 区民教常任委員会 委員
たいとうフロンティア 副政調会長



2023.01.31 号外

立憲民主党 立憲民主編集部

〒100-0014

東京都千代田区永田町 1-11-1

三宅坂ビル 7F

Tel.03-3595-9988

Fax.03-3595-9088

東京都総支部
連合会

号外版

連絡先

立憲民主党東京都総支部連合会

東京都千代田区永田町 1-11-1 三宅坂ビル 6F

TEL03-6261-0435

”みんなにいい” がきっとある！

プロフィール

- 群馬県前橋市生まれ ●東証プライム上場企業で法人営業に従事
- 法政大学大学院修士課程を修了、街づくりとコミュニティ政策について学ぶ
- 地元商店街主催の振興イベントにスタッフとして地域を元気にする方法を実地で学び、2016年より地域新聞編集委員を務める
- 2015年よりペットの里親探しのお手伝いをするボランティア活動を開始、一般社団法人ローリーペット台東区理事を務める
- 2019年 台東区議会議員に就任



令和4年区議会で質問しました

議会の録画画像をご覧いただけます

台東区議会録画中継



質問1 介護保険制度の迅速なサービス提供について

介護保険制度には要介護の認定を受ける必要があり、通常1ヶ月以上を要している。末期がん等の特定疾病を抱える65歳未満の世代にも迅速にサービスを提供するためには？

区長答弁 これまで認定調査や整理期間の短縮に取り組んできたが、さらに特定疾病を抱える65歳未満の方々など、必要に応じて認定結果が出るまでの間の暫定的なサービス利用についてもご案内している。今後も期間の短縮に努め、一日でも早いサービス提供に結びつけていく。

質問2 ICT人材の登用について

デジタル社会を支えるための人材の登用等を徹底的に行なうことが急務である。民間企業等から専門のICT知識を持った人材を定期的に採用することにより、本区のデジタル化が、より一層推進されると考えるかどうか？

区長答弁 本区では情報化推進分野の専門知識・ノウハウを有するCIO補佐業務、委託事業者を活用し知見を活かしながら各種事業に取り組んでいる。ICT専門知識・経験を有する人材を採用することは、特別区全体も必要性を認識。求める人材像や採用制度等の検討を行っている。引き続きICT人材の確保に向け、取り組んでいく。

質問3 地方公共団体情報システム標準化の推進

地方公共団体情報システム標準化は、移行スケジュール、導入コスト、国の財政措置等の様々な課題が懸念される。区の今後の方向性、課題と解決策について、現段階でのご意見を伺う。

区長答弁 システム標準化は、電子手続きの促進と共に、人的資源、経費を抑制し、他施策へ転用を図ることで、サービスの向上につながるものと認識。主な課題は、スケジュール、費用、補助金が十分に見込めないこと等。移行手順や別途構築が必要な独自システムの簡素化により、期間や費用を圧縮していくとともに、特別区長会、23区と国との意見交換会においても、本区の主張を伝えていく。

質問4 性教育について

日本の性教育の意識は世界と離れていると言われており、違いを埋めていく必要があると考える。国や都の動向を受けた本区の性教育の現状について、教育長の所見と、教員の意識の向上も重要であると考えるかどうか、お伺いする。

教育長答弁 性に関する指導は、児童・生徒の身体的・精神的発達の個人差などに十分配慮し、学習指導要領や「性教育の手引き」等を活用し、各学校が十分に理解し適切に実施している。実践を通して教員の指導意識も向上すると考える。保健分野だけでなく各教科で指導資料をより丁寧に参照するよう伝えている。今後も教員が養護教諭と連携するなどして研究を深め、児童・生徒が正しい知識を身に付け、適切な意思決定や行動選択ができるよう、指導実践の充実を図っていく。

info@meguminakajima.jp



中島めぐみ 台東区

検索

ご寄付はこちらで受け付けております▶



コロナ禍で失われた下町経済をどのよう取り戻していったら良いか？

元経済産業大臣 海江田万里

政治を取り巻く環境について

地域活性化について

地方議員に期待すること



対談

台東区議会議員

中島めぐみ

衆議院副議長

海江田万里

中島…ウクライナ戦争やコロナ禍や円安の厳しい時代の中で、政治を取り巻く環境についてのご所見や感想をお伺いいたします。

海江田…コロナも3年目。ウクライナも情勢を見ていると長引きそうですね。一日も早く終わってほしい。戦争が長引くのは、やっぱりエネルギーの問題。円安と相まってエネルギーの価格が高騰して物価が上昇しますけれど、これも長引くことを覚悟しないといけないと。そういう意味では政治にとって大変な危機的な状況ですね。

政治家は危機感が足りないんじゃないと言ふ有権者の声には謙虚に耳を傾けなければいけない。政治家自身の政治資金の問題とか宗教の問題でいつまでも国会の議論が長引いているようなことがあってはいけない。政治家の仕事はこの厳しい状況において国民生活を守っていくということであるので、このことに一日も早く取り組まなければいけないと思います。

中島…海江田先生のエリアである麻布十番商店街などは、都心で商業が盛んですが、地域活性化について一番大事にしていることは何ですか？

海江田…麻布十番というのは関東一円から人が訪ねて来るわけで、コロナ禍でリモートワークが拡がり、都心部で会社員を相手に商売をしていた人たちはすごく困っています。その場所が魅力がある町であれば、こんなところから人が来る。やっぱり下町

というの一つの売りになると思うんですよ。むしろ大都会のイルミネーションとかよりも。古い街並みや商店街が残っているというだけでなく、そこにプラス、イベントをやる必要があると思います。実は麻布十番でも色んなイベントをやってますよ。地方に移るということが増えている。一番

麻布十番以外でも、新宿の小さな商店街では最近音楽祭をやったりして人集めに成功しています。インバウンドの外国人観光客に本来の日本の商店街を見せるというのは面白い。例えば旧正月で来られたアジアの観光客に「日本の正月の風景を見たい」と言われても2月には正月の風景はない。そ

こであえて外国人向けに2月に餅つきをやつたり日本の正月の風景を見せるイベントやってみる、そういう柔軟さも大事なら選んでいるんだという意識を持つべきだと思います。なるべく多くの人から選ばれるためには、この地方分権の時代、有権者側も区議会選挙を行ってほしい。誰が区議会議員をやるのかということは、非常に大きな問題です。それからもう一つ、女性の政治家がまだ少ない。アメリカで女性の連邦議会議員と話したのですが、その人はこちらでいう区議会議員、郡の議員から始めたそうです。アメリカでも連邦議会議員になることは難しいが、まず女性議員が群や州の中で大きなウェイトを占めてそこから知事になつたり連邦議会議員になつたりしている。欧米諸国からはだいぶ遅れていますが、日本でも女性が一人でも多くなるということで区議の政治も変わっていくんじゃないかと思います。やっぱり女性参画というの大事。とりわけ区政や都政においては女性の視点というの絶対大事ですからね。大いに期待しています。

